

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

## 公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫  
両団体理事長 半 田 晴 久  
交通部会長 松 本 治 男  
専務理事 清 原 淳 平

### 交通部会のお知らせ(第251回)

日時 平成29年6月27日(火) 午後1時半～3時半

場所 参議院議員会館 1階 102会議室

千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車5分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「102会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

議 題

#### 1、最近の交通情勢について想う

挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)

#### 2、遠隔型自動運転システムの公道実証実験に係る道路使用許可の申請に対する取扱いの基準等について

#### 3、チャイルドシートの使用状況等について

#### 4、高齢者に係る交通事故防止について

(平成29年版交通安全白書)

#### 5、交通事故統計(5月末及び6月26日まで)

解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報 告

去る5月30日開催の第250回交通部会は、松本治男部会長が議長を務め行われました。

まず、警察庁交通局交通企画課 落合大地課長補佐(警視)より、「安全運転サポート車の普及啓発に関する関係省庁副大臣等会議の中間とりまとめ」について解説がありました。安全サポート車とは、自動ブレーキ、ペダル踏み間違え時加速抑制装置、

車線逸脱警報、先進ライト（基本的にハイビームだが、対向車がいる場合などは自動的に減光するもの）を備えたもので、高齢者の死亡事故の28%を占める操作不適について、事故を起こした際も被害が軽減されることを期待して作られたものである。平成27年時点で各自動車メーカーの新車に自動ブレーキ搭載率は45%であるが、これを2020年まで90%以上に引き上げる目標が定められた。本年度と来年度は、官民を挙げての安全サポート車普及啓発重点期間に設定されている。現状、関心は高まって来ているものの、認知度がまだ不十分であり、高齢者ばかりでなく家族に対する普及啓発を促進して行く。

次に、「信号機の停電対策」について解説がありました。東日本大震災では、停電などによって信号機が稼働しなくなった地域があった。そこで、全国約1万7千基の重要な信号機について、予備電源を常設することで減灯を防止することとした。電源には自動起動式とリチウム電池式がある。前者は軽油を使用するが、1基250万円とコスト高で、大型のため場所をとる。また、どうしても誤差が生じてしまうことがある。後者は誤差が生じず、設備も軽いが、充電には8時間を要する。今後も国費で整備が進められていく。また、信号機を必要としない環状交差点の設置も対策の1つである。通行速度が落ちるため事故防止になるが、歩行者の横断距離が増える、急激な交通量変化に対応出来ないなどのデメリットもある。

次に、「交通事故統計」について解説がありました。部会前日（5月29日）までの死者数は1376人で、前年比174人の減少。5月中も現段階で51人の減少と、年間通して大きく減少傾向は続いている。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、有意義な会合となりました。

★ 資料代 会員500円、非会員2000円  
次回、6月27日（火）の交通部会（参）に

出・欠 （いずれかに○印）

事務局宛FAX 03-3507-8587

御芳名 \_\_\_\_\_

貴方様のFAX \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

**テロ対策への警備から、非会員で参加希望の方は、必ず、前日までに事務局へ御連絡下さい。**

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

HP <http://www.jidaisassin.jp> Eメール [kiyohara@jidaisassin.jp](mailto:kiyohara@jidaisassin.jp)